

株式会社 栄光工業

【所在地】〒783-0023 南州市廿枝1307
 【TEL】088-864-1116 【FAX】088-864-1119
 【E-mail】glory@eikous.jp
 【URL】http://eikous.main.jp/
 【設立】1980年(昭和55年)7月1日
 【従業員】200名 【資本金】5,000万円
 【主たる業種】金属製品製造業

代表取締役社長
 中山 博之

企業概要

設計から組立完成品まで、一貫生産ができる金属工業企業。
 OEMの組立完成品製作などを行う。

ものづくり技術

精密加工・製造環境

設備投資のみ

機械加工設備拡充による高精度商品のプロデュース、及び完成品受注時の短期対応実現

事業計画概要

金属加工業の課題として、残る「機械加工事業部」の充実強化に取り組む。そこで、本補助事業によりCNC旋盤を導入し、自社商品開発や設計から組立までの一貫生産をより強固に行い、更に高度な生産ラインのニーズにも対応出来るよう業容を広げ、経営基盤の強靱化を図る。

事業取組みの経緯

当社は昭和55年に金属プレス加工業者として、従業員3名でスタートした。時代のニーズに合わせて事業を拡大し、産業機械などの機械部品、組立完成品を一貫生産している。

組立完成品のOEM生産を行っているが、その金属加工部品のほとんどが多品種・少量生産であり、2次加工が必要な機械の動力を伝達する回転軸であるシャフトなどの旋盤加工部品は自社での製作ができず外注していた。

また、複数の機械を使用して加工することによる工数の増加(機械間の移動の増加、段取り回数・時間の増加など)によるコスト増から外注製作せざるを得なかった。しかも、短納期かつ一品加工に対応できる業者がないため、その多くを県外業者に発注しており輸送コストもネックとなっていた。そのため、内作比率をアップさせることが事業拡大に向けての課題となっていた。

当社の経営方針として、OEMの組立完成品の受注増および自社機械製品の開発を目指す中、この課題を解決すべく、本事業を活用してCNC旋盤を導入するとともに、より多くの部品を内製できる環境を整えることとした。

実施内容

DMG森精機株式会社製「CNC旋盤」 1台を導入・設置

ステンレスや鉄材の切削・穴開けなど、コンピューター制御により精密な形状に加工する。



DMG森精機株式会社担当者立会いのもと、試運転を行って仕様通りのパフォーマンスを確認し、同じく担当者による12日間のオペレーター研修を行って当社社員が操作を習熟した。

事業取組みの成果

既存の設備では平面縦横の2軸加工のみであったが、本事業により新しく導入したCNC旋盤はY軸で高さの指定ができるため、短時間で精密な加工が可能となった。繊細な溝加工が可能で、これまで請け負うことができなかった部品や、旋盤機械のみで完成する高付加価値で利益率の高い部品を製造することができるようになった。

機械間を移動する時間のロスもなくなり、1人の技術者がより多くの加工を受け持つことで製品の精度も向上した。

今回導入したCNC旋盤は、「刃物の取り替えスピードが速い」「熱変位を抑えながら精度の高い加工ができる」「複数の操作の指令を重ねて出せる」「刃先の剛性が高く耐久性がよいため廃棄が少ない」など多数の利点を持ち、さらにLED照明や最新の低消費電力の高効率機器を搭載しており、消費電力やCO₂の排出量の見える化にも対応、精度の向上と同時に省エネ・低コスト、環境への負荷低減も実現した。

本事業によるCNC旋盤導入、自己資金による立形マシニングセンタ3台の購入により、自社で製造できる部品の種類が大幅に増え、内作比率は30%から50%にアップした。自社製品開発や設計から組立までの一貫生産をより強固に行う目処が立った。

設備導入前

鋼材	切削加工	表面加工	組立	完成
----	------	------	----	----

切削加工	ポンチマーク加工 (印を付ける)	タップ加工 (縦穴あけ加工)	タップ加工 (横穴あけ加工)
60分	30分	20分	20分

設備導入後

鋼材	切削加工	表面加工	組立	完成
----	------	------	----	----

切削加工(55分) ポンチマーク加工(0分) タップ加工(15分)	タップ加工 (横穴あけ加工)
70分	20分

製品内容

金属部品各種

OEM組立完成品
 衛生用品自動包装機
 ボトルラベル自動貼り機
 食品自動包装機など

今後の活動予定・販売計画

当社は設計開発、機械加工、組立、塗装、レーザー加工、溶接、板金、プレス・カットなどさまざまな技術を有し、設備を拡大して部品加工から組立完成品へと経営の軸をシフトさせてきた。県内では、一貫生産を強みにしている企業は少ないため、既存受注先や新規取引先からの引き合いが増加しており、今後は機会損失のないよう、機械加工はもとより会社全体の基盤強化の推進、新たな工場の新設を見据え、新規雇用を継続する。

また、OEMの組立完成品だけでなく、自社製品の開発にも注力し、プランニングから設計、製造を行って、一貫生産のできる企業の強みを発揮していく。

地域への貢献と、さらなる成長・拡大を図り、「100年企業」を目指して勝ち残り、事業を継続していく。